秋田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語Ⅲ (3E)
科目基礎情報					
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教科 (人文科学系)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『ちくま評論入門』改訂版 (筑摩書房) 『ちくま小説入門』 (筑摩書房) 国語辞典 (電子辞書も可) 『クリアカラー 国語便覧』 (数研出版) 『ステップアップ 日本語講座 中級』 (東京書籍)				
担当教員	照井 一美				
到達目標					
1. 論理的文章の読解を通して、要旨や筆者の主張を把握し、自分なりに考えることができる。 2. 文学的文章の読解を通して、想像力や感じ取る力を磨き、心情を豊かにすることができる。 3. 俳句の創作を通して、文学的創作活動を体験するとともに、作品を鑑賞することができる。 4. 現代社会で求められるコミュニケーション能力を、正確かつ豊かに駆使することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的文章を読み、論旨を的確に理解し、要約し、自分の意見を説得力豊かにまとめることができる。	論理的文章を読み、論旨を理解し、要約し、自分の意見をまとめることができる。	論理的文章を読み、論旨を理解し、要約し、自分の意見をまとめることができない。		
評価項目2	文学的文章を読み、優れた表現に着目するとともに、表現の効果を踏まえて作品の魅力を説明することができる。	文学的文章を読み、場面や状況を踏まえた人物の行動や心情を理解することができる。	文学的文章を読み、場面や状況を理解できず、人物の行動や心情を表す表現を見つることができない。		
評価項目3	俳句の創作を通して、文学的創作活動を体験するとともに、作品を鑑賞することができる。	俳句の創作をすることができる。	俳句の創作をすることができない。		
評価項目4	コミュニケーション能力を正確かつ豊かに発揮することができる。	コミュニケーション能力を発揮することができる。	コミュニケーション能力を発揮することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	論理的文章、文学的文章を正確かつ豊かに読解することを通じて、考える力を養う。また、自分の考えを他者に正確に伝えるための表現力を磨く。				
授業の進め方・方法	講義形式で行う。適宜、小テストを実施し、レポート、作文等の提出を求めることがある。				
注意点	教科書、ノート、副教材、国語辞典を忘れずに準備して出席すること。新しい教材に入る前に、該当箇所を通読して授業に臨むこと。 合格点は50点である。到達度試験の成績の90%に、ノート整理・授業態度等平素の成績を10%として加え、評価する。 学年総合評価 = (前期末成績 + 後期末成績) ÷ 2。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。	
		2週	未来の他者と連帯する	未来の他者との連帯につきまとう悲観と希望について理解し、説明することができる。	
		3週	未来の他者と連帯する	未来の他者との連帯の可能性について、自分の考えをまとめることができる。	
		4週	狐憑	シャクの人物像がどのように変化していったかを理解し、説明することができる。	
		5週	狐憑	聴衆や部落の人々のシャクに対する見方を捉え、説明することができる。	
		6週	俳句の創作	俳句の作り方を復習し、俳句を創作・鑑賞することができる。	
		7週	到達度試験 (前期中間)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答。	
	2ndQ	9週	衣服という社会	衣服の選択の社会化と流行現象との関係性について理解し、説明することができる。	
		10週	衣服という社会	流行現象におけるアイデンティティの危機について理解し、説明することができる。	
		11週	衣服という社会	「モード現象」について理解し、自分の考えをまとめることができる。	
		12週	どよどよ	物語る行為によって生じた樹子の気持ちの変化を捉え、説明することができる。	
		13週	どよどよ	「どよどよ」の意味について考え、説明することができる。	
		14週	どよどよ	樹子の気持ちの変化と「どよどよ」の意味を踏まえ、あらすじをまとめることができる。	
		15週	到達度試験 (前期末)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答。	
後期	3rdQ	1週	貨幣と言語	貨幣と言語の二つの類似点を理解し、説明することができる。	
		2週	貨幣と言語	常識的な記号観による錯覚について理解し、説明することができる。	

4thQ	3週	貨幣と言語	「記号」はモノではなく関係の網の目であるという筆者の意見を踏まえ、自分の考えをまとめることができる。
	4週	四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて	「100パーセント」という表現の意味を理解し、説明することができる。
	5週	四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて	出会った朝と振り返る現在の「僕」の気持ちの流れを整理することができる。
	6週	四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて	「悲しい話」と「僕」の状況との呼応を踏まえてあらすじをまとめることができる。
	7週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答。
	9週	人間と政治	政治では動機でなく効果が重要とはどういうことか理解し、説明することができる。
	10週	人間と政治	政治の前提する「性悪説」について理解し、説明することができる。
	11週	人間と政治	政治とはどのような営みかを説明することができる。
	12週	文学のふるさと	ペロウの『赤頭巾』と狂言「鬼瓦」の例が意味することについて理解し、説明することができる。
	13週	文学のふるさと	芥川の体験と『伊勢物語』の挿話が意味することについて理解し、説明することができる。
	14週	文学のふるさと	人間や文学の根源にあるものについて自分の考えをまとめることができる。
	15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	3	33
専門的能力	30	0	0	0	0	3	33
分野横断的能力	30	0	0	0	0	4	34